

泌尿器科紀要

第 18 卷 第 8 号

1972年8月

随想 尿管における再吸収と分泌の機構.....星 猛...537

選択的腎動脈撮影時にみられた一過性腎硬塞の2例:腎動脈撮影の合併症にかんする考察.....川村 寿一・日江井鉄彦・原田 卓・沢西 謙次・加藤 篤二...539

子宮頸癌手術後の下部尿管損傷に対する尿管膀胱新吻合術

一とくに膀胱腰筋固定法について.....矢野 久雄・林 知厚・中村 隆幸...563

尿管S状結腸吻合術の再検討 第1報 一とくに不成功例の分析.....林田 重昭・桐山 奮夫・酒徳治三郎...568

膀胱腫瘍の発生機構にかんする実験的研究

一とくに tryptophan および肝機能の役割について.....原田 卓...575

男子尿道狭窄症に対する内尿道切開術の経験.....林田 重昭・桐山 奮夫・広中 弘・吉川 静...588

原発性男子尿道移行上皮癌の1例.....今村 一男・近藤 常郎・池内 隆夫・依田 丞司...594

真性半陰陽の1例.....加藤 篤二・高橋 陽一・山下 爵世...602

八戸市立市民病院泌尿器科における過去9年間の入院患者に関する統計的観察.....加藤 義朋...609

DIP用 Conray による片側通過障害腎のDIPの検討.....小幡 浩司・夏目 紘・三矢 英輔...615

二次性尿路感染症由来菌に対するサルファ剤の試験管内抗菌力にかんする検討.....桐山 奮夫・佐長 俊昭...625

Minocycline にかんする基礎的ならびに臨床的検討.....桐山 奮夫・小丸恒夫・酒徳治三郎...631

Double blind 法による AC-PC と AB-PC の尿路感染症に対する臨床効果の比較検討.....原 信二・三田 俊彦...639

編集後記・購読要項・投稿内規.....646

CONTENTS

Editorial: Tubular Transport MechanismT. Hoshi...537

Transient Renal Infarction in Selective Renal Arteriography: Report of Two Cases and Complications of Renal ArteriographyJ. Kawamura, T. Hiei, T. Harada, K. Sawanishi and T. Kato...539

Ureterocystoneostomy with Fixation of the Bladder to the Psoas Muscle in the Repair of Ureteral Injury following Gynecologic SurgeryH. Yano, T. Hayashi and T. Nakamura...563

Reappraisal of Ureterosigmoid Anastomosis Part I. Clinical Investigation of Unsuccessful CasesS. Hayashida, T. Kiriyaama and J. Sakatoku...568

Experimental Studies on Tumorigenesis of the Urinary Bladder with Special Reference to the Role of Tryptophan and Liver FunctionT. Harada...575

Internal Urethrotomy for Strictures of the Male UrethraS. Hayashida, T. Kiriyaama, H. Hironaka and S. Kikkawa...588

Primary Transitional Cell Carcinoma of the Male Urethra: Report of A CaseK. Imamura, T. Kondo, T. Ikeuchi and S. Yoda...594

True Hermaphroditism: Report of A CaseT. Kato, Y. Takahashi and A. Yamashita...602

Clinical Statistics on Inpatients and Operations at the Urological Section of Hachinohe Citizen's Hospital in Recent 9 Years from 1962 to 1971Y. Kato...609

Drip Infusion Pyelography with A Use of DIP ConrayK. Obara, H. Natsume and H. Mitsuya...615

Antibacterial Activity of Sulfa Drugs against Bacteria Isolated from Secondary Urinary Tract InfectionT. Kiriyaama and T. Sacho...625

Laboratory and Clinical Evaluation on MinocyclineT. Kiriyaama, T. Koganemaru and J. Sakatoku...631

Comparative Evaluation of the Clinical Effects of Aminocyclohexylpenicillin and Aminobenzylpenicillin by the Double-blind Controlled Technique in Patients with Urinary Tract InfectionsS. Hara and T. Mita ...639

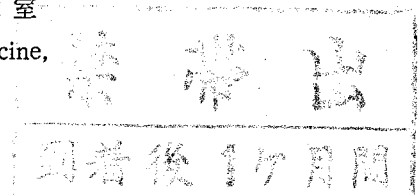


泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor: Prof. Tokuji KATŌ



編 集 後 記

たい風、豪雨の気候から急に真夏の太陽がきらめき連日きびしい猛暑の続きですすでに残暑とはいえすごしくい昨日ではあるが、16日大文字の送り火を迎え、秋もいよいよまぢかくなった。

さて筆者ら教室の4名はこのたび東南アジア学術調査を計画し、京大東南アジア研究センターの後援のもとに、タイ国の尿石症、膀胱がん、腎不全の実態調査を志して18日内地を出発することとなった。一行はバンコック市内のシリラーシ病院、チュラロンコン大学医学部、マヒドール大学のラマー病院、国立がんセンター、チェンマイ大学などを訪問の予定で、諸種情報を集め、これら疾患にたいする有効な対策を共通問題として検討してきたいと思っている。

本月の随想には星猛教授より原稿を掲載することとした。

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料1,800円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間12ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。
4. 新規に個人で入会のかたには最初の1年購読料1,000円の特典を設けます。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけて下さい。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pHなどを使用し、は不要です。またBUN IVP NPN PSP TURなども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わずTable 1, Fig. 2等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
 - A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
 - 例 1) 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 1955.
 - 2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
 文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等
 - B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
 - 例 1) 加藤篤二: 日本泌尿器科全書, Vol. 5, p. 175, 金原出版 & 南江堂, 東京, 1960.
 - 2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell, M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 掲載料の著者負担は4頁まで毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申し受けます。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。ご投稿のさい希望部数を申し込んでください。お急ぎのときは特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
10. 原稿は最終的にご希望があれば返却いたします。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けはいたしません。
12. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第18巻 第8号 1972年8月25日 印刷 1972年8月31日 発行
定価150円(送料別)

編集発行人 加藤 篤二 顧問 稲田 務 発行所 泌尿器科紀要編集部
606 京都市左京区聖護院川原町53 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入